

## 米倉教公の週間為替市場見通し

9/12 日週号

ドル/円予想レンジ 100.00 - 103.70 円

## 『米国株動向と12日のFRB要人発言に注目！』

## ■今週の市場動向：ドル/円は2週陽線後の陰線引け

今週のドル/円の週足では、下ヒゲ陰線引けとなった。2週連続陽線後のその翌週は大きく下落することが多いのが特徴だ。週明け早朝に104.13円まで上昇する場面があったが、黒田日銀総裁が講演で追加金融緩和の限界を否定したものの、具体的な内容ではなかったことから円買いに転じた。6日は、一時103.80円まで反発したものの、戻りの鈍さが意識され下落した。米8月ISM非製造業が市場予想を大幅に下回りドル売りが加速した。7日は9月の日銀政策決定会合で行われる『総括的な検証』で、政策委員の統一見解の取りまとめが難航と報じられたことや、マクロ系ファンドから売りが持ち込まれたとの指摘もあり、一時101.19円まで売込まれた8日は、ECB理事会で金融政策の現状維持が決定されたことで、欧米債券利回りが上昇し、ドル/円の下支えとなり目先のストップスを巻き込み102円半ばまで戻した。9日は米の早期利上げ観測が高まり、米長期金利が急上昇したことで一時103円台を付けたが、米国株が大幅に下落幅を拡大するとリスク回避の円買いも入り102円台後半で終了した。

## ■来週の注目点：米国株の動向と12日のFRB要人発言に注目

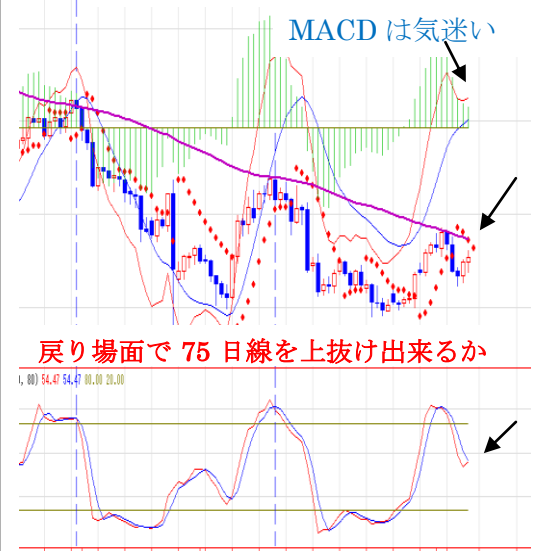
週末米国株は大幅下落したが、季節的に米国市場では10月からの決算発表が迫るなか、決算警戒売りや、決算の内容を見極めによる新規買いの手控えとなりやすい。週明け後も米国株が下げ止まらまいようならば、大統領選を控えて利上げどころではなくなる。12日は3人のFRB要人の講演があるが、ブレイナードFRB理事の発言が注目を集めている。同理事はこれまで金融緩和の継続に対してはハト派として知られている。また、大統領選の候補者であるヒラリー・クリントン候補と非常に関係が深い。そのため、同候補が大統領選で勝利すれば、次期財務長官の有力候補として取り沙汰されている。15日に米8月小売売上高が発表されるが、米GDPの3分の2を占める個人消費のトレンドとして注目される。16日に金融政策の判断として注目される米8月消費者物価コア指数(CPI)も重要指標となる。

## ■テクニカル的な見解：イエレン米FRB議長講演まではレンジ相場の様相

9月6日付のシカゴIMM投機筋の対米ドルの差し引き持ち高で、円は前週の+63,661から+54,489へと円の買い持ち高は6週間ぶりに減少となった。パラボリック(パラメータ:0.08,0.3)では、6日から売転し継続している。MACD(パラメータ:12,26,9)では、ゼロライン近辺で気迷い相場となっている。ストキャスティクス・スロー(パラメータ:14,3,3,20,80)では、%Kと%Dは共に54.47となっている。75日移動平均線が再び上値抵抗ラインとなるかがカギとなる。5月31日、7月21日、9月2日では、ストキャスティクスが買われ過ぎまで上昇しているところで、75日線が上値抵抗ラインとなりその後は下落した。戻り相場では、今回も前3回目と同様の動きとなるのか、それとも75日線の103.688円を上回ってくるかが焦点となる。今週は1ドル=100.00-103.70円を想定する。

本レポートについての注意事項は巻末をご覧ください。必ずご確認ください。

ドル/円：日足 終値：102.68 円



## ★今週の気になる出来事

日銀の追加緩和策については賛否両論ある。しかし、それよりも重要なのは、このような金融政策があと何年もつかにある。必ず限界があり、限界を超えると国内債券市場、為替市場、株式市場に大きなクライシスがやってくると思っている。ただ、今現在は国策に売りなし、下がったら買いスタンスは変わらない。重要なポイントは、債券市場だと思っている。海外投資家の保有率が高まっているなか、彼らは日本が危ないと思ったら、一気に売りまくってくるからである。国内債券暴落が見切りをつけるポイント！

商号：株式会社フジトミ

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第 1614 号

商品先物取引業者：農林水産省指令 22 総合第 1351 号,経済産業省平成 22・12・22 商第 6 号

加入協会：日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人金融先物取引業協会、

■くりっく 365 の売買手数料は 1 枚当たり最大でインターネットスタンダードコースが片道 0 円 (税込)、インターネットプレミアムコースが片道 648 円 (税込)、コンサルタント取引 (対面取引) コース及びコンサルタント取引 (対面取引) オンライン併用コースが片道 1,080 円 (税込) です。

■くりっく 365 における証拠金の額は、株式会社東京金融取引所が定める為替証拠金基準額で、原則週次で見直されます。その額は通貨ペアによって異なり、個人のお客様の場合最大で約 25 倍のお取引が可能です。

【くりっく 365－為替証拠金基準額の算出方法】

金融先物取引所が定める為替証拠金基準額は以下の計算式に基づき、算出致します。

計算式：為替証拠金基準額＝取引単位 (元本金額) ×4%× (5 取引日の為替清算価格平均値)

■「くりっく 365」には、以下のリスクがあります。

【価格変動リスク】

くりっく 365 は、取引する通貨の価格の変動に伴い差損が生じる場合があります、元本や収益が保証されるものではありません。建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生ずる場合があります。また、差入証拠金以上の損失が生ずる場合があります。

【レバレッジリスク】

くりっく 365 は、取引の額が預託された証拠金に比して大きくなるため、価格変動リスクその他のリスクがその比率に応じて増幅されます。レバレッジにより、その取引について必要となる証拠金の最大 25 倍までのお取引を行うことができます。

【信用リスク】

当社は、東京金融取引所を相手方とした「清算制度」に参加しており、お客様の証拠金は、全額取引所が区分管理しているため、原則として全て保全されています。しかし、当社の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他不測の損失を被る可能性があります。

#### 【システム障害リスク】

当社及び東京金融取引所のシステム、又はお客様、インターネット業者、東京金融取引所の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合には、相場情報等の配信、発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失が発生する可能性があります。

#### 【税制・法律等の変更リスク】

税制・法律又はその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

#### 【金利変動リスク】

取引対象である通貨の金利が変動すること等により、保有するポジションのスワップポイントの受取額が減少、又は支払額が増加する可能性があります。ポジションを構成する2国間の金利水準が逆転した場合等には、それまでスワップポイントを受け取っていたポジションで支払いが発生する可能性もあります。また、一部の通貨においては、外国為替市場における当該通貨の需給関係等の影響を受けて、金利変動によらずにスワップポイントの増減や支払いの逆転が生じたり、場合によっては、金利の高い方の通貨の買いポジションでスワップポイントの支払いが生じる可能性があります。

#### 【流動性リスク】

くりっく 365 で提示する為替レートには価格差（スプレッド）があります。くりっく 365 では、マーケットメイカーが買呼値及び売呼値を提示し、それに対してお客様が注文を発注して取引が成立する方式を取っています。状況（天変地異、戦争、政変あるいは為替相場の激変等）によって、マーケットメイカーによる買呼値や売呼値の安定的、連続的な提示が不可能または困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができないなど、お客様にとって不測の損失が生じる可能性があります。また、一部の通貨において母国市場等の休業の場合には臨時に休場することがあります。更に、当該国の為替政策・規制による他通貨との交換停止や外国為替市場の閉鎖の措置がなされるなどの特殊な状況が生じた場合には、特定の通貨ペアの取引が不能となる可能性もあります。なお、平常時においても流動性の低い通貨の取引を行う場合には、希望する価格での取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

#### 【コンバージョンリスク】

クロスカレンシー取引においては、決済が当該通貨ではなく円貨でなされることから、決済時に当該通貨の為替リスクの他に円との為替リスクがあります。

#### 【ロスカットのリスク】

相場の変動により、有効比率が当社の定める基準以下となったことを当社が確認した場合、お客様の意思に関わらず、当社はおお客様の全ての未約定注文の取消及び全ての建玉の決済注文（ロスカット注文）の発注を行います。

ロスカットの場合でも、相場の急激な変動により損失の額が差し入れた証拠金の額を上回る可能性があります。

#### 【情報リスク】

当社からご提供させていただく情報は、くりっく 365 の取引の参考としていただく資料です。その記載情報は、信頼性、正確性、完全性において保証されるものではありません。また、情報内容も予告なしに変更することもあります。

#### 【その他】

取引所為替証拠金取引の売買は、クーリング・オフの対象とはなりません。取引所為替証拠金取引に関しましては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定の適用対象とはなりませんので、ご注意ください。

※くりっく 365 は、株式会社東京金融取引所の登録商標です。